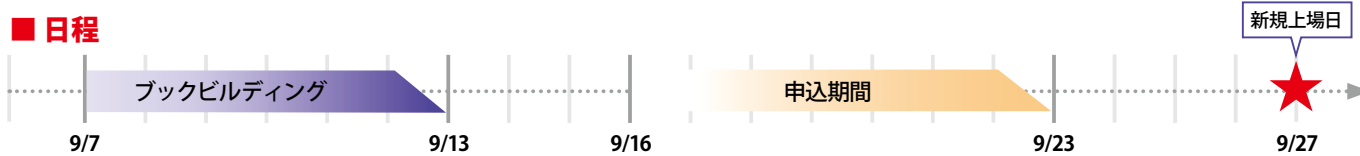


## IPO銘柄 チェンジ (3962・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3962	100 株	公募: 28.00 万株 売出: 21.00 万株 (OA0.00 万株)	1,080 円 ~ 1,200 円 (30.4 倍)	SBI 証券



## NEW-ITトランスフォーメーションで企業に変革を

### ■ 事業内容

新しいIT (情報技術) で企業に変革を促す「NEW-ITトランスフォーメーション事業」を手掛ける。モバイル活用の「Mobile & Sensing Application」、クラウド、仮想化技術を活用する「Enterprise Security & Infrastructure」、IoT (モノのインターネット) 活用の「Analytics & IoT」、NEW-IT人材を育成する「Next Learning Experience」の4サービスを展開。それぞれのサービスにライブラリ (顧客の業務改革を実現するためのツール、ノウハウ) を持ち、変革のニーズに応じて複数のライブラリを組み合わせて顧客に提供している。NEW-ITトランスフォーメーション事業の単一業態。

### ■ 特徴

人口減少が見込まれる日本で、「NEW-IT」を用いて企業に生産性革命を実現させる。業界のベンチマークとなりやすいトップ企業をターゲットにして受注し、成功例を構築。次に、そこで生まれたツール、ノウハウをパッケージ化し、ライブラリに入れる。その後、同じ業界に横展開し、事業拡大を図っている。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

16年9月期の非連結経常利益は前期比23.5%増の1億7,000万円を予想する。収益規模はまだ小さいが、法人向けスマートデバイス、ビッグデータ、IoTなど、今後の市場拡大が期待される分野でビジネスを育成しており、中期的な成長力が評価の手掛かりとなりそうだ。

### ■ 定性分析

個人投資家の好む物色テーマを詰め込んだような案件で、スケジュールの中でも目立つ存在となっている。潜在的な成長力が手掛かりとなる案件だけに、実態面の分析もあまり役に立たなそうだ。新興市場で人気のJIG-SAW (3914) と提携関係にあることもポイント。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は6億円程度。軽量級案件で、ベンチャーキャピタル保有株もないことから需給面は非常に良好。物色テーマに乗る案件だけに相当の買い需要が発生しそうで、上場当日は大きな需給ギャップが発生しそうだ。 (小泉健太)

### ■ 類似企業

チェンジ(3962・マザーズ)	予想PER30.4倍 (仮条件上限)
JIG-SAW (3914・マザーズ)	予想PER —
テラスカイ (3915・マザーズ)	予想PER92.6倍

### ■ 引受証券

SBI証券、マネックス証券、みずほ証券、SMBC日興証券、エース証券、藍澤證券、SMBCフレンド証券、極東証券、東海東京証券、東洋証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年9月期(実績)	711	—	74	—	43	—	16.7	0.0
15年9月期(実績)	1,400	—	137	—	82	—	30.9	0.0
16年9月期(会社予想)	1,520	8.6	170	23.5	111	34.0	39.5	0.0

※ 14年9月期は決算期変更により6カ月決算。16年7月に株式分割(1株→300株)を実施。  
14年9月期、15年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年9月期	9,100	767	280	48	108.8	36.6	16.6
15年9月期	9,100	793	370	48	138.0	46.7	25.4

※ 14年9月期、および15年9月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	神保 吉寿	782,100	23.45
2	福留 大士	478,800	14.35
3	伊藤 彰	377,700	11.32
3	石原 徹哉	377,700	11.32
3	金田 憲治	377,700	11.32
6	高橋 範光	268,800	8.00
7	Jun Emi	150,000	4.50
8	山田 裕	118,800	3.56
9	チェンジ従業員持株会	105,000	3.15
10	JIG-SAW	45,000	1.35

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役 執行役員会長 Next Learning Experience ユニット長	神保 吉寿
代表取締役 執行役員社長 Research & Development ユニット長	福留 大士
取締役 執行役員副社長 Mobile & Sensing Application ユニット長	伊藤 彰
取締役 執行役員CFO Control & Management ユニット長	山田 裕
監査役(常勤)	田中 晴規
監査役	小寺 圭
監査役	池田 文夫

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。